

福祉部長目標

● 福祉部長 前田 広子(まえだ ひろこ)



● 当部の仕事を通して貢献しているSDGsの主なゴール



● 福祉部の仕事

福祉部は、福祉総務課・生活福祉課・障害福祉課・高齢者支援課・介護保険課・地域福祉センターの6課で構成し、地域福祉の向上をめざして、高齢者及び障害者に関すること、生活保護に関すること、介護保険に関することなどを主な仕事としています。多様化・複雑化する福祉課題に対し関係機関等と連携しながら業務を進めていきます。

● 福祉部の令和3年度の目標

引きこもりなど地域で孤立している生活困窮者のアウトリーチ支援を行います。障害のある人もない人も共に生きる社会づくり条例の体現に必要な施策を推進します。障害者の重度化・高齢化や「親亡き後」に備え、地域の支援体制の充実を図ります。地域全体で高齢者の課題を解決するため、生活支援体制の整備を行います。

● 目標達成に向けた重点事業

No.	事業項目	事業の概要	事業の目標	事業の達成実績
1	生活困窮者自立促進支援事業	様々な課題を抱えて地域で孤立している生活困窮者の自立に向けた支援を行います。	自立相談支援機関に新たにアウトリーチ支援員を配置し、社会参加に向け支援を必要とする方に対し、より丁寧な対応による自立支援の強化を図ります。	就労準備支援事業支援件数は5件(延べ212件)。様々な問題を抱え一般就職に向けた準備が整っていない方に対し、アウトリーチ支援員による状況に応じた計画的な支援により自立を促しました。
2	障害のある人もない人も共に生きる社会づくり条例推進事業	条例の周知啓発を行うとともに、条例の体現に向けた施策の検討を進めます。	条例の周知及び「社会的障壁の除去推進事業補助金」の交付を進めるとともに、関係部署等で連携し今後の方向性や取組みの検討を進めます。	社会的障壁の除去推進事業補助金交付件数は5件。条例の周知啓発に係る研修は5回実施しました。西武所沢S.C.に筆談ボード215台を設置しました。障害者の作品展や手話動画をSNS配信し周知に努めました。障害のある人もない人も共に参加する書道ワークショップを開催しました。

3	地域生活支援拠点整備推進事業・入所施設整備事業(「親亡き後」の課題)	障害者の「親亡き後」に備え、地域の支援体制の充実を図ります。	関係機関と連携し、相談体制の充実を図るとともに、入所施設の整備に向けた調整を進めます。	地域生活支援拠点整備推進会議を定期的開催し、地域の支援体制の充実を図りました。また、「親亡き後」に備えた入所施設整備計画に基づく社会福祉施設の建設に向けた調整を進めました。
4	生活支援体制整備事業	地域課題を解決するための体制づくりとして、高齢者の生活支援や介護予防サービスの充実をめめます。	生活支援の担い手の発掘・養成を行うとともに、地域資源の開発やネットワーク化により地域全体で高齢者を支援する体制の整備を進めます。	地域課題を解決するための体制づくりとして、地域ケア代表者会議、各地域ケア会議において地域住民等と連携し、地域資源773件を把握し取りまとめました。